
Let's 女子じゅーどー部っ -

阿僧祇

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Let's 女子じゅーどー部っ

-

【Nコード】

N2164V

【作者名】

阿僧祇

【あらすじ】

予算獲得の条件として、男子との団体戦を行うことになってしまった女子柔道部。体力差を埋めるため、真奈たちの考えた卑怯な必殺技が炸裂しまくる！ はたして勝負の行方は……。 / 12p
を想定した漫画脚本の形式です。

（前書き）

■ 短編の柔道物。 12ページで3組の試合を描くというチャレンジ作品です（笑）。 た

だし男が主役だと暑苦しくなるので、例によって女子柔道物を考えました。 すると

筆が滑って、スポーツ青春物ではなくお色気ドタバタに……（笑）。
なお登場する

「必殺技」のうち前二者は、作者の考案ではなく過去に一応実在したものです。（汗）

■ あらすじ

予算獲得の条件として、男子との団体戦を行うことになってしまった女子柔道部。

体力差を埋めるため、真奈たちの考えた卑怯な必殺技が炸裂しまくる！ はたして勝負の行方は……。

■ 人物

真奈：山下真奈。 女子柔道部主将。 激し易く、短絡的かつ直線的な性格。

優希：富田優希。 女子柔道部員。 長身で不必要に色っぽい女子。

春香：西郷春香。 女子柔道部員。 小柄で茫洋とした雰囲気的女子。

生徒会長：くそ真面目っぽい、ストレート髪にメガネのお姉様。

司：渋川司。 少年漫画の主人公タイプで男子柔道部主将。 心の底では、真奈のことを

心配してくれてるらしい。

夏樹：磯夏樹。男子柔道部員。すばしこいタイプの男子。

高志：高木高志。男子柔道部員。力持ちっぽい外見の男子。

主審：男子柔道部員。驚いたり焦ったりしても、役目はしっかり果たす男子。（笑）

「1」

扉絵。

T「Let's 女子じゅーどー部っ -」

「2」

○生徒会室

真奈「納得できません！」

デスクに掌を叩き付けて、絶叫する真奈。

キャプション「女子柔道部部长 やました・まな 山下真奈」

生徒会長は、メガネをなおしながら落ち着き払って、

生徒会長「女子柔道部は実績もほとんど無いでしょ。請求は飲めないわ」

真奈「でもこんな少ない予算、ひどすぎます！」

生徒会長「なら実績を示すことね」

真奈、不満そう。

「3」

真奈「しばらく大会は無いし……練習試合くらいしか」

生徒会長、馬鹿にするように

生徒会長「そんなもの実績のうちに入りますか。せめて、男子柔道部と団体戦をやって

勝つくらいの……」

真奈、勢いよく身を乗り出して

真奈「！」「男子に勝てば予算を認めてもらえるんですね！」

生徒会長「え……ええ、まあ」（汗）
勢いに押されてしまってる生徒会長。

○女子柔道部部室

真奈「というわけで」「男子と3vs3の団体戦をやることになりました」

優希、手を挙げて

優希「ぶちよー」

「4」

優希「ふつう負けると思います」

春香「体力差あるもんね」

真奈「でもっ！」「柔能く剛を制す」って！

書き文字：桃山時代の達人・関口柔心も

春香「近代のスポーツ柔道はあきらかに体力勝負だよ？」

真奈「うっ……」

困ってしまう真奈。

優希「……ま、戦術、思い付かないこともないけど」

真奈「何か策があるの!？」

優希「弱い者が強い者に勝ててこそ「武道」でしょ」

優希、ニヤリと不気味に笑む。

○柔道場

すでに柔道着姿の一同。

司「本当にやるの、山下？」

キャプション「男子柔道部部长 しぶかわ・つかさ 渋川司」

真奈「他に選択肢ないもん」

「5」

司、背を向けながら

司「言つとくが、どんな事情があろうと勝負は勝負。手を抜いたり
はしないからな?」

真奈、拳を見せて

真奈「いいわよ、渋谷。ガンチコでいきましょう」

。コート

試合開始。

主審「赤、女子柔道部・西郷春香! 白、男子柔道部・高木高志!」
「勝負一本、
はじめ!」

春香、異様に汚れた道着を着ている。(伏線)

。ギャラリー

生徒会長も観戦している。

。コート

高志「うつ!」

ぷん、と、二人の周囲に漂つてゐる臭気。

高志「な、なんだこの気持ち悪いすっぱいニオイは!」

春香「へへへ……この道着、4ヶ月ほど洗ってないの」

「6」

春香はにじりより、高志は鼻を押さえてあとじさる

高志(苦悶の表情)「汚いぞ!」

春香「そりゃあ、洗ってないわけだし」

高志「そ、そういう意味じゃなくて……うつつ、さ、触るなっ!」

春香、とびかかろうと威嚇。

春香「うりゃああつ」

高志「うぎゃあつ!」

高志、逃げようとしてけつまづき転んでしまふ。

主審の声「勝負アリ！ 一本」

○選手席

真奈（汗だくで引きつり笑い）「な、なにあれ……」
優希「これぞ、触れずに勝つ伝説の必殺技「臭気道」^{しゅうきだう}」
♪」

○ギャラリ―

顔がひきつつてる生徒会長。

「7」

○コート

主審「赤、女子柔道部・富田優希！ 白、男子柔道部・磯夏樹！」
袖と襟を掴みながら動く二人。

優希、わざと胸元のTシャツをちらちら見せてる。（伏線）
夏樹、つつい視線が優希の胸元に。

優希「よっ！」

優希、夏樹の足を内側から刈り夏樹は転倒。

夏樹「大内刈り!？」

主審の声「有効！」

「8」

○選手席

真奈「やった、優希」

春香「いや、恐いのはこれからだって」（引きつり笑い）

○コート

主審の声「押さえ込……」

縦四方固めの状態に入ってる。
声「!？」

下になつてゐる夏樹、顔面に……

夏樹「むぐっ!？」

夏樹（心の声）「むっ、胸が!？」

優希、夏樹の顔に胸を押し付け、頭を抱きしめて、舌なめずり。
優希「さあ、天国と地獄を同時に味わいなさい!」

「9」

夏樹、頭を抱え込まれてもがいてる。

夏樹「もがが~~~~っ!」

夏樹（心の声）「うわーっ! 息ができないっ、でも女子だから気色いいっ!」

優希、狂氣的な笑いを浮かべて抑えこみつづける。

○選手席

主審の声「白、イキ……もとい、落ちました。勝負アリ!」

真奈、頭を抑えてる。

春香「「愛の必殺技・捕乳締^{ほにゅう}め」って言うんだって」

○ギャラリ―

真っ青になつて固まつてゐる生徒会長。

「10」

司「お前ら……ほんとになりふり構わないな」（汗）

真奈（半泣き）「しょうがないでしょ! フェアな勝負じゃアンフェアなんだから!」

主審の声「赤、女子柔道部・山下真奈! 白、男子柔道部・渋谷司! はじめ!」

司、真剣な表情で身構えて

司「だが、俺も県大会3位「横四方の渋谷」……あの程度の奇襲は通用しないぞ!」

真奈は顔を紅潮させ、なぜか辛そう。
真奈「うつつ……やらないとダメなの？」

○選手席

手に汗を握ってる優希と春香。

優希「今よ真奈！」

春香「必殺！」

「11」

○コート

目をつぶって思い切った表情の真奈の、帯がとけ股下の紐が切れ、

前をはだけて股下が落ち、下着が丸見えの姿に。（Tシャツは着てない）

声「究極の奇襲技、「裸締め」ならぬ「裸攻め」！」

声「ーっ！ーっ！」

司、ぶつたまげて鼻血を噴く。

「12」

主審「白の試合放棄。勝負アリ！」

真奈はぺたんと座り込んでしまい、前をおさえて号泣する。

真奈「なんて作戦よ、もっつ！」「渋川、責任とってケツコンだかんねー！」

司は返事もできず、うずくまっている。

○ギャラリ―

真奈「でも一応、全勝しました」

生徒会長「認めるか、そんなもん！！#」

生徒会長、ハリセンで真奈の頭をひっぱたく。

「おつかい」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2164v/>

Let's 女子じゅーど一部っ -

2011年10月9日11時16分発行